

飼い主のいない猫のことで悩んでいませんか？

飼い主のいない猫に 迷惑している



- 庭にふんや尿をされて困る
- 屋外で子猫が生まれている
- ごみや畑が荒らされる
- 鳴き声がうるさい

飼い主のいない猫が かわいそう



- お腹を空かした猫や子猫を助きたい
- 不幸な猫を増やしたくない
- 飼いたいけど飼えない
- 野良猫のために何かしたい

共通していることは…

「猫による被害を減らしたい」「不幸な猫を減らしたい」

郡山市は 「地域猫活動」を 支援します

「飼い主のいない猫」とは、所有者が不明な猫又は所有者が存在しない猫（野良猫）をいいます。「地域猫活動」とは、飼い主のいない猫による被害や困りごとを**地域の生活環境問題として捉え**、地域住民の理解と協力を得ながら、えさの管理やトイレの設置、不妊去勢手術を行うことによって生活環境を保全し、一代限りの命（※）を全うさせながら、飼い主のいない猫の数を減らしていく活動です。※戸外で生活する猫は屋内飼養の猫に比べ、感染症、交通事故等の関係から寿命は短く3～5年と言われています。

こんなトラブルを解決！



ふん尿問題



子猫がたくさん



鳴き声問題

郡山市では、平成30年に「飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金交付事業」を開始以降、令和5年3月末現在、市内20の団体登録をいただき、83頭の不妊去勢手術費の補助を行いました。

飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金交付事業

- 1 郡山市内在住者を含む3名(3世帯)以上で団体を作る
- 2 猫の管理方法を決める
- 3 地域住民の理解を得るように努める
- 4 対象の猫を決め保健所へ申請

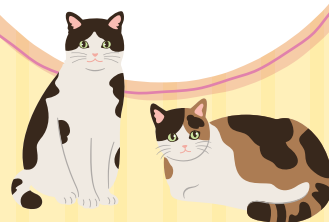
★飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助★

不妊去勢手術費を対象とし、補助額は手術費の1/2

補助限度額	メス1頭	8,000円
	オス1頭	4,000円

※補助金の交付は予算の範囲内となりますので、事前にご相談ください。

郡山市保健所では地域猫活動を行おうとされている方や町内会等に対し、助言を行うとともに必要に応じて会合に参加し説明等を行っております。



飼い主のいない猫 Q & A

Q 猫を減らせば被害が減る。駆除してもらえないか。

A 猫は「動物の愛護及び管理に関する法律」で愛護動物とされており、駆除はできません。

Q えさをあげるから猫が増える。えさやりを禁止したらどうか。

A えさやりを禁止しても、猫にはなわばりがあるためすぐにはいくなりません。代わりにえさを探して、ごみをあさるなどの被害が拡大するおそれがあります。

Q 猫に不妊去勢手術をするのはかわいそう。

A 猫は繁殖能力にすぐれ、1頭のメス猫から1年で20頭以上増える可能性があります。生まれた子供も早ければ半年で繁殖します。飼い主のいない猫を減らすために不妊去勢手術が必要です。

Q 不妊去勢手術はしてあげたいが、えさやトイレの管理をしたくない。

A 地域の猫による被害を減らすためには、適切なえさとトイレの管理が必要です。

動物の遺棄や虐待は犯罪です(動物の愛護及び管理に関する法律)

愛護動物を殺したり傷つけた場合 >>> 5年以下の懲役または500万以下の罰金

愛護動物を衰弱させる等の虐待をした場合 >>> 1年以下の懲役または100万以下の罰金

愛護動物を遺棄した場合 >>> 1年以下の懲役または100万以下の罰金

お問い合わせ先

郡山市保健所 生活衛生課
TEL 024-924-2157 E-mail sei-eisei-aigo@city.koriyama.lg.jp